

## 会 議 録

会議の名称	中学校再編に係る地域説明会（豊里地域）	
開催日時	令和4年10月19日（水）	
	午後7時00分開会	
	午後8時00分閉会	
開催場所	豊里公民館 中ホール	
事務局（教育委員会）氏名	教育長	小野寺 文晃
	教育部長	小林 和仁
	次長兼教育総務課長	菅原 正博
	学校再編推進室長	白岩 登世司
	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長	千葉 道宏
	学校再編推進室 主査	西條 文武
	学校再編推進室 主事	佐藤 春香
参加者数	22人	
事務局	開会 午後7時00分	
教育長	挨拶	
事務局	配布資料に基づき「中学校再編の考え方及び今後の進め方」、「中学校再編準備委員会の設置」について説明	
事務局	意見交換・質疑応答	
参加者	<p>現状の課題として、単学級になりクラス替えができないことや、部活動ができないことの他に考えられることは何か。</p> <p>例えば、財政的な面での市の負担が大きいとか、統廃合することによりスクールバスによる負担増加などあると思う。</p>	
事務局	施設の老朽化があげられる。生徒数が減少している状況の中で、すべての学校施設を維持することが難しい状況もある。	
参加者	<p>資料10ページの再編計画の期間について、統合することはどのくらい前に分かるのか。</p> <p>話し合いにもよると思うが、自分の子どもは小学6年生で、中学校に入ってから、半年前とか1年前とか、どの段階でどう変わるのか見通しが立たない。中学生というのは、高校進学もあるので、どのくらい前に決定され、見通しが立つのか。</p>	
事務局	<p>南部地域の豊里、米山、南方は、令和7年度から再編準備委員会での話し合いを始めたいと考えている。その後には開校準備委員会もあり、開校まで5年くらいはかかるものと見込んでいることから、令和12年度に統合校を開校することを考えている。</p> <p>ただし、話し合い次第で、統合の時期が、早まることも遅くなることもありえる。</p>	
参加者	豊里地域は、米山が真ん中なので、米山に行くことになる方向か。	

	<p>また、スクールバスは、朝と夕方1本ずつでは足りないのではないか。部活動を考えると、何本か出すことや、バスに乗れない人が登下校するために安全な経路になっているのかというところまで考えているのか。</p>
事務局	<p>統合校の位置については、令和7年から再編準備委員会を豊里、米山、南方で立ち上げ、その中で、まずは既存校舎の中で、どこにするかという部分から協議していきたい。</p>
	<p>スクールバスは、中学校ではこれまで運行していなかったが、統合すれば運行しなくてはならないと思っている。皆さんから、意見をいただきながら、運行の方法、乗車場所などについて検討していきたい。</p>
参加者	<p>既存校舎の有効活用と言っているが、経過年数を見ると40年を超える校舎が多い。そうすると新しい校舎を作ることになるのではないのか。</p>
事務局	<p>市内の学校は、古い校舎が多いという状況である。耐用年数は、日本建築学会の基準を参考として65年を目安にしている。これからの話し合いで、どの校舎を使うか決めれば、劣化診断調査を実施し、その調査結果を見て決めていきたい。</p>
参加者	<p>9ページの地域別再編構想について、少子化もあり統合は仕方がないと思う。区域分けをこのようにした経緯、どのように考えたのか。</p>
事務局	<p>区域の割り方について、1つ目は将来の生徒数の推移という部分からである。原則として各学年2クラス以上の学級編成になるように、適正規模は全校で6学級から18学級なので、学年で2クラスから6クラスまで確保できるようにした。</p>
	<p>2つ目は通学時間である。通学時間については、国の手引きで、スクールバスを活用した場合でも概ね1時間以内ということが示されている。スクールバスを利用した場合、1時間以内で登下校できる場所を図面上で見ながら区域分けした。</p>
	<p>適正規模を考えた場合、町域を考えずにできればいいが、小学校の再編を町域ごととしているため、子どものことを考えると、中学校も町域を分割せず、小学校の通学区域を基本とし、1町から3町の単位でまとめた結果、4つの区域分けとした。</p>
参加者	<p>中学校の学級編成の基本となる人数は几人か。</p>
事務局	<p>中学1年生は1学級35人、中学2年生と3年生は1学級40人である。例えば、1年生であれば35人より多くなれば2学級になる。</p>
参加者	<p>資料の4ページについて、本来の学校教育は、基本的に勉強だと思う。学習の面だけ考えれば、1学級35人でも、30人でも学習は成り立つのではないのか。文章を見る限り、なぜ中学校を統合しなければならないのか見えないと感じる。</p>
事務局	<p>一番は、クラス替えができない、それに伴って競い合う友達がいない、競争心が芽生えにくいといったことも発生する。どうしても友達を通しての新た</p>

<p>参加者</p>	<p>な考え方やものの見方、理解する機会が減少するなどといった部分があり、クラス替えができる学校規模の確保が必要だと考えている。</p> <p>クラス替えができないから統合するということは違うような気がする。なぜ統合しなければならないかということを含味してほしい。</p> <p>学年1クラスの学校の子どもたちが高校に行って、どんどん進学していくという事例がたくさんある。</p>
<p>事務局</p>	<p>単学級には、仲間が親密で、色々なかたちで家庭的な学校になって非常にいい面もある。しかし、一旦、人間関係が崩れるとそこを脱することができないという事案が出てくる。例えば、いじめがあったときにクラス替えで、ある程度緩衝できる部分というものはあるが、ずっと一緒だとそれが難しいという面がある。</p> <p>それから社会性という面では、仲間意識が強いということは良いが、多様な考え方に触れられないという面もあり、そのあたりは一長一短がある。皆様の意見を伺い、この先いろいろな議論を重ねながらより良い再編の方向を探っていきたい。</p> <p>先ほども説明したとおり、小学校を再編して、町域に1つしたので、中学校になって、またばらばらになるということだけは避けたい。それが町域ということでの括りになった大きな要因である。それが正しいかと言われれば、議論の中で考える余地は十分にある。このような説明会を、何度でも開催していかなくてはならないと思っている。</p>
<p>参加者</p>	<p>子どもたちのことが優先して文書が書かれているが、市のメリットはないのか。登米市の財政から考えた場合の学校運営費など、再編することによって、登米市の財政としては良くなるのか、悪くなるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育施設は、教育委員会の管理施設だが、市全体の保有施設面積の約半分を占めている。そこに係る経費というものは、市の負担が大きくなっていくことになる。人口が減っていく中で、利用者も減るということで、25%程度減らさないと将来的に財政状況が厳しくなるということは、市でしっかり示している。</p> <p>これは市の方針だが、教育委員会としては、子どもたちのことを最優先に考え、今回、この計画を立て、それに向かって進んでいる。市の教育を担う教育委員会としての説明になるため、子どもたちのために再編を進めるということを出して記載している。財政的なメリットがないかという点、決してそうではなく、そちらの計画も進めながら、学校再編も進めていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>小学校の再編状況について説明</p>
<p>事務局</p>	<p>閉会 午後8時00分</p>